

## バイオマスタウン構想分析DB

【リンク】松前町バイオマスタウン構想

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
33	2009.3.31			愛媛県	松前町	30,564	20.32
構想の要約		松前町の都市近郊型地域の特長を生かして食品廃棄物、廃食用油、剪定枝、稲わら・もみがら、ひまわり等油糧作物の活用を推進し、バイオマス全体を無駄なく効率的に利用する住民、事業者、行政が一体となった地域循環型社会を目指す					
構想に盛り込まれた事業		①食品廃棄物・企業循環システムの形成 ②廃食用油・利活用の推進 ③せん定枝・利活用の推進 ④稲わら等・利活用の推進 ⑤ひまわり等・油糧作物の栽培					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物		稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材			
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他( )			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他( )		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量 (湿潤量換算)	賦存量 (炭素量換算)	変換・処理方法	仕向量 (炭素量換算 目標値)	利用方法	利用率 (目標)
<b>(廃棄物系バイオマス)</b>						
食品廃棄物	3,811t	168t	堆肥化・飼料化	148t	堆肥・燃料利用	88%
廃食用油	142t	101t	燃料化	96t	燃料利用	95%
廃木材	30t	7t	チップ化・堆肥化・燃料化	7t	堆肥・燃料利用	100%
せん定枝	739t	165t	堆肥化・燃料化	165t	堆肥・燃料利用	100%
下水道汚泥	202t	19t	—	0t	—	0%
浄化槽汚泥	75t	7t	堆肥化	5t	堆肥	71%
<b>小計</b>	<b>4,999t</b>	<b>467t</b>		<b>421t</b>		<b>90%</b>
<b>(未利用バイオマス)</b>						
稲わら	3,763t	1,077t	堆肥化・燃料化	444t	堆肥・燃料利用	41%
もみ殻	894t	256t	堆肥化・燃料化	112t	堆肥・燃料利用	44%
麦わら	233t	67t	堆肥化・燃料化	27t	堆肥・燃料利用	40%
その他農作物非食用部	161t	13t	堆肥化・燃料化	5t	堆肥・燃料利用	38%
<b>小計</b>	<b>5,051t</b>	<b>1,413t</b>		<b>588t</b>		<b>42%</b>
<b>(資源作物)</b>						
ひまわり	0.7t	0.5t	燃料化	0.4t	燃料利用	80%
<b>小計</b>	<b>0.7t</b>	<b>0.5t</b>		<b>0.4t</b>		<b>80%</b>

## バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

概要図なし

### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)